

N o 11：追加発注受け成果実感

2024年11月～12月の2カ月間、昨年度に引き続き県産米のプロモーションを行った。今回は本事業の結果をレポートしたい。

昨年度は小売店と飲食店でプロモーションを実施した。小売店での売れ行きも上々だったが、飲食店の方が取引量が多く、安定したニーズがあるため、今回は飲食店に絞ることとした。実施店舗数は、昨年度の2店舗から3店舗に増やした。

使用する米については、香港人にもなじみのある銘柄が良いとの意見を受けてコシヒカリとした。

今回プロモーションを実施した飲食店は、香港島地区クォーリーベイ（鰂魚涌）の焼肉店、九龍地区モンコック（旺角）で人気の日本食店、新界地区シャティン（沙田）で24年夏にオープンしたばかりの焼肉店



【シャティンの焼肉店で提供された、
県産米を使った釜ご飯】

の3店舗である。どの飲食店にも好評だったが、中でもシャティンの焼肉店のオーナーには特に気に入っていただき、プロモーション終了後も県産コシヒカリの発注が入った。

同店で提供している釜ご飯について、これまで使っていた日本産米と比べて県産コシヒカリの方が炊き上がりのうまみが強く、ご飯のつやと香りも良く焼き肉にとっても合うとの意見をいただき、非常にうれしい限りである。

飲食店のお客さまからも、県産コシヒカリはもちもちした食感で、適度な粘りがありおいしいといった意見をいただき、満足していただけたと感じる。

今回もKOL（世の中に影響力のある人物）による動画配信を実施した。香港では短い動画を好む人が増えていることから、インスタグラムのリール機能を活用するとともに、多くの視聴者の目を引くため米に加えて焼き肉や看板料理にも焦点を当てた。

実際に出来上がった動画は食欲をそそる内容となっており、KOLのリールを見てお店に行きくなった香港人も多かっただろう。

昨年度と比べて大量の米を取り扱ってもらうとともに、追加発注をいただけた飲食店も出たことから、今回のプロモーションでは一定の成果をあげることができたと思う。今後も香港への県産米の輸出量が増えていくよう、こうした取組を継続していきたい。

（県香港事務所長 卯木啓之）